キャラクター名: エミリア=ワーグナー

プレイヤー名:

シンドローム	ブラム=ストーカー バロール	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	R災対策班ルカ班隊長
オプショナル		年齢	20	性別	
覚醒	感染	衝動	闘争	初期侵食率	34 %
出自	兄弟	経験	ＵＧＮへの忠誠	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	3	1	0			4
精神	3	0	0			3
社会	1	0	0			1

HP	25
行動値	11
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	3		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術 :ｷﾞｬﾝﾌﾞﾙ	1		知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
聖銀の銃弾	射撃	4r+5		9		
攻撃	射撃	7r+5		1ｄ+19		
60%	射撃	8r+5		1ｄ+19		
80%	射撃	7r+5		1ｄ+31		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
聖銀の銃弾*5	
恩讐の傷痕@ダキアの紅月祭	
コネ：デイビット	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
聖銀の銃弾	P	N		
ルカ班@REC	P 信頼	N 恥辱		
古代ダキアの紅月祭	P 決意	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 9

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
銀釵魔穿の一撃	4		RI			自身		
効果：	攻撃力+3ｄ、ﾘｱｸｼｮﾝ、装甲、ｶﾊﾞｰﾘﾝｸﾞ無効。ｼﾅﾘｵ1回							
灰色の庭	3	4	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	視界	単体	自動		
効果：	行動値-LV*3							
ｺﾝｾ：ﾌﾞﾗﾑ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ		-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果：	C値-LV(下限値7)							
血の宴	2	3	ﾒｼﾞｬｰ		範囲	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果：	範囲(選択)、ｼﾅﾘｵLV回							
赫き弾	5	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	射撃		
効果：	攻撃力+LV*2。HP2点消費							
瞬速の刃	2	3	ﾒｼﾞｬｰ	ー	-	白兵、射撃		
効果：	判定ﾀﾞｲｽ+LV+1							
黒の咆哮	3	4	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	80	
効果：	攻撃力+LV*4、判定ﾀﾞｲｽ-2							
追撃の魔弾	1	5	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	ﾘﾐｯﾄ	
効果：	C値を+1し、ﾒｼﾞｬｰｱｸｼｮﾝを二回行う。ｼﾅﾘｵ1回							
時の棺	1	10	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	100	
効果：	相手の判定を一度だけ自動失敗にする。							
偏差把握	★							
効果：								
かしずく歯車	★							
効果：								
効果：								
効果：								

前隊長デイヴィッドの天真爛漫な妹、優等生の兄に対して問題児の妹であった。ルカ班の仔猫。
狙い撃つ兄と違ってハンドガンを使った複数対象への乱れ撃ちをメインとした曲芸とも言うべき銃撃を得意とする。

ルカ班の隊長であった兄を心から慕っており、彼女は自らを「兄の露払い」と称していた。
実際に防衛戦や殲滅戦ではその力を存分に発揮し、隊長の命を救ってきた。また露払いは戦場だけではなく、プライベートで兄に近づく者も対象だった。
所謂ブラコン。

紅月祭の時にもその力を存分に発揮したが、最終局面でレネゲイドの浸食が限界を迎えたため、本部へ帰還していた。そしてレネゲイド災害終結とともに兄の死を知らされる。

それからしばらくして、彼女はルカ班の隊長となる。隊長となった彼女はかつての曲芸射撃をそのままに、前隊長の得意とした狙撃を新たに身に着けた。
それに伴い、使用する武器もハンドガンから、兄より引き継いだライフルにワイヤーを仕込み、剣先をフック状に改造したものを使用している。
また、それまでの問題ぶりが鳴りを潜め、冷静に指揮を行う凛々しい女性に成長した(はずである)。
しかし、それはあくまで亡くなった兄のまねごとをしているに過ぎず、戦績も指揮能力も遠く及ばない兄に大きなコンプレックスを抱いている。

コードネームがドイツ語でファミリーネームもドイツ語由来だが、本人はアイルランド出身の英国淑女。

「血絆のシルバーバレット」を経て、彼女は本来の自由な振る舞いを戻す。性格も以前より比較的丸くなり、隊員からの扱いとしてはある種のマスコット化、もといいじられている。
規律を重んじるルカ班の隊長としては異端中の異端であり、本人も自覚してるが直す気はない模様。それでも彼女なりにルカ班としての自覚と、兄に叩き込まれた最低限の規律は持ち合わせているためか、今のところは何も問題は起きてないとのこと。